

日本アイソトープ協会の学術活動

平成22年度

発行 社団法人 日本アイソトープ協会

目 次

1. 会員	
1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）	1
1.2 所属部会別会員数（法人、賛助含む）	1
1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）	1
2. 部会・委員会	2
2.1 理工学部会	2
2.1.1 概要	2
2.1.2 第23期理工学部会	2
2.2 ライフサイエンス部会	4
2.2.1 概要	4
2.2.2 第23期ライフサイエンス部会	4
2.3 医学・薬学部会	6
2.3.1 概要	6
2.3.2 第23期医学・薬学部会	6
2.4 放射線取扱主任者部会	10
2.4.1 概要	10
2.4.2 第26期放射線取扱主任者部会	10
2.5 その他の委員会	13
2.6 講演会・見学会等	15
2.6.1 理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会	15
2.6.2 放射線取扱主任者部会	18
2.6.3 NMCC共同利用委員会	20
3. 第47回アイソトープ・放射線研究発表会	20
4. CJK Congress（中・日・韓アイソトープ協会会議）	20
5. 講習会	21
5.1 文部科学省・厚生労働省登録講習	21
5.1.1 第1種放射線取扱主任者講習	21
5.1.2 第3種放射線取扱主任者講習	21
5.1.3 放射線取扱主任者定期講習	22
5.1.4 第一種作業環境測定士（放射性物質）講習	23
5.2 その他講習会	23
5.2.1 アイソトープ基礎技術入門講習会	23
5.2.2 ラジオアイソトープ安全取扱講習会	23
5.2.3 密封線源安全取扱講習会	23
5.2.4 第1種主任者育成講習会	24
5.2.5 第2種主任者育成講習会	24

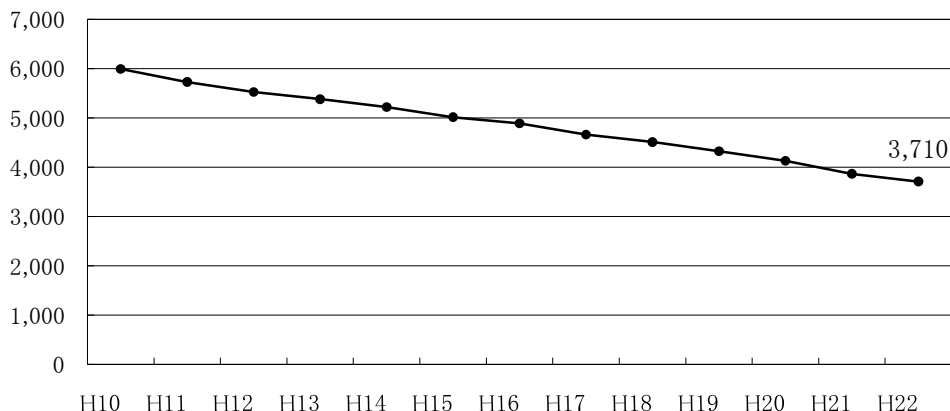
6. 図書等の発行	25
6.1 機関誌	25
6.1.1 Isotope News	25
6.1.2 RADIOISOTOPES	25
6.2 出版物等	26
7. 共同利用	26
7.1 仁科記念サイクロトロンセンター共同利用	26
8. 普及・啓発	27
8.1 第14回(2010年)RADIOISOTOPES誌論文奨励賞	27
8.2 平成22年度原子力・放射線安全管理功労表彰	27
8.3 公開講座	27
8.4 第20回滝沢研究所施設公開	27
8.5 武見記念館	27
8.6 第51回「科学技術週間」施設公開	27
9. 図書室の活動	28
9.1 新規収蔵図書	28
9.2 収蔵定期刊行物	29
資料 部会活動の経過及び成果公表資料	30
1. 理工学部会	30
2. ライフサイエンス部会	35
3. 医学・薬学部会	37
4. 放射線取扱主任者部会	44

1. 会員

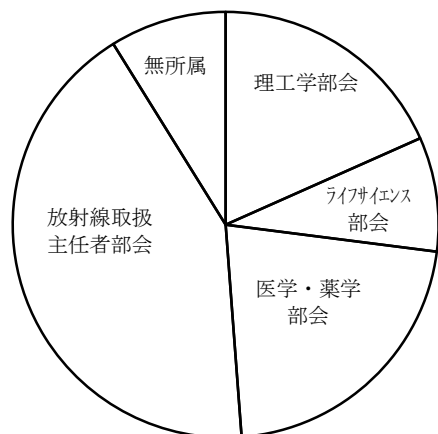
1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）（各年度3月末日現在）

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
個人正会員	5,679	5,423	5,216	4,860	4,685	4,441	4,307	4,100	3,914	3,733	3,526	3,270	3,103
法人正会員	265	261	265	270	259	249	242	234	239	240	240	229	225
特別会員				206	233	285	304	293	325	319	331	336	352
賛助会員	52	48	47	47	46	41	39	37	34	34	34	32	30
計	5,996	5,732	5,528	5,383	5,223	5,016	4,892	4,664	4,512	4,326	4,131	3,867	3,710

会員数の推移（法人、賛助含む）



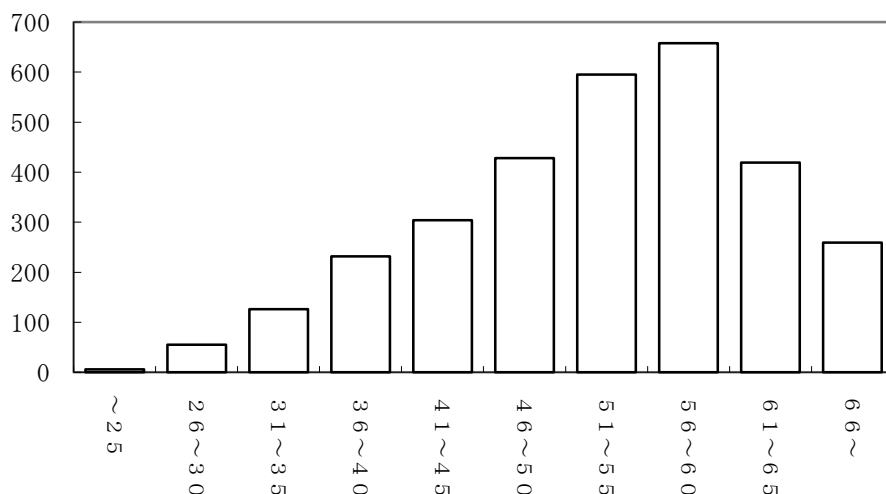
1.2 所属部会別会員数（法人、賛助含む）（平成23年3月末日現在）



理工学部会	1,082
ライフサイエンス部会	512
医学・薬学部会	1,285
放射線取扱主任者部会	2,498
無所属	522
延 計	5,899

（注）会員は複数の部会に所属できる

1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）（平成23年3月末日現在）



2. 部会・委員会

2.1 理工学部会

2.1.1 概要

理工学部会ではアイソトープの理工学分野への利用に関する調査研究や部会員相互の研究連絡ならびに技術の向上に資するため、講演会、勉強会、見学会などを行うとともに、必要に応じ専門委員会を設けて、所要の調査・研究活動を実施しています。

2.1.2 第23期理工学部会（任期：平成22年6月～平成24年5月）の構成

常任委員会		
理工学分野におけるR I・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。		
部会長	鷺尾 方一	早稲田大学理工学術院総合研究所理工学研究所
副部会長	井口 哲夫	名古屋大学大学院工学研究科
	今泉 洋	新潟大学自然科学系（工学部）
常任委員	青山 道夫	気象庁気象研究所
	大石 晃嗣	清水建設(株)技術研究所
	神野 郁夫	京都大学大学院工学研究科
	小嶋 拓治	(独)日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所
	後藤 彰	(独)理化学研究所仁科加速器研究センター
	小林 久夫	立教大学名誉教授
	佐藤 俊文	(株)東芝 府中事業所
	柴田 徳思	(独)日本原子力研究開発機構J-PARCセンター
	白川 芳幸	(独)放射線医学総合研究所
	高橋 浩之	東京大学大学院工学系研究科
	田川 精一	大阪大学産業科学研究所
	桧野 良穂	(独)産業技術総合研究所
	藤浪 眞紀	千葉大学大学院工学研究科
	松原 昌平	アロカ(株)
	山本 匡吾	帝国ピストンリング(株)

放射線防護機器専門委員会		
放射線施設における放射線防護用設備・機器の適切な使用に資するため、「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集し利用者の便に供する。		
委員長	桧野 良穂	(独)産業技術総合研究所
委員	草尾 豊	(株)千代田テクノル
	渋谷 均	東京医科歯科大学医学部
	白川 芳幸	(独)放射線医学総合研究所
	野村 貴美	東京大学大学院工学系研究科
	松原 昌平	アロカ(株)
	武藤 利雄	(地独)東京都立産業技術研究センター

*) 所属は平成23年3月現在

超低レベル放射能測定専門委員会

通常の放射線計測技術では測定が困難なあるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。

委員長	青山 道夫	気象庁気象研究所
委員	秋山 正和	(財)日本分析センター
	氏平 祐輔	東京大学名誉教授
	大塚 良仁	(財)環境科学技術研究所
	櫻井 敬久	山形大学理学部
	高橋 暁美	福井県原子力環境監視センター
	安田 健一郎	(独)日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門

中性子応用専門委員会

発展の著しい中性子関連のいくつかの先端技術の研究について、従来の中性子イメージングに加え、新たにいくつかのテーマを加え研究調査を行う。

委員長	小林 久夫	立教大学名誉教授
委員	氏平 祐輔	東京大学名誉教授
	兼松 学	東京理科大学理工学部
	川端 祐司	京都大学原子炉実験所
	鬼柳 善明	北海道大学大学院工学研究院
	竹中 信幸	神戸大学大学院工学研究科
	藤 暢輔	(独)日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門
	前川 藤夫	(独)日本原子力研究開発機構J-PARCセンター
	松嶋 卯月	岩手大学農学部
	松林 政仁	(独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門
	持木 幸一	東京都市大学工学部
安田 良	(独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門	

2.2 ライフサイエンス部会

2.2.1 概要

ライフサイエンス部会では、アイソトープのライフサイエンス分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを各専門委員会を中心に実施しています。

2.2.2 第23期ライフサイエンス部会（任期：平成22年6月～平成24年5月）の構成

常任委員会		
ライフサイエンス分野におけるR I・放射線の利用推進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。		
部会長	唐木 英明	東京大学名誉教授
副部会長	小島 周二	東京理科大学薬学部
常任委員	都筑 幹夫	東京薬科大学生命科学部
	東 順一	京都大学大学院農学研究科
	井尻 憲一	東京大学アイソトープ総合センター
	伊藤 伸彦	北里大学獣医学部
	稲波 修	北海道大学大学院獣医学研究科
	大森 正之	中央大学理工学部
	白岩 善博	筑波大学大学院生命環境科学研究科
	中西 友子	東京大学大学院農学生命科学研究科
	林 徹	聖徳大学人間栄養学部
	山川 武夫	九州大学大学院農学研究科
	吉田 聡	(独)放射線医学総合研究所
	米山 忠克	東京大学名誉教授

企画専門委員会		
ライフサイエンス部会の活動全般にわたる企画・立案、調整・運営について検討し、常任委員会に意見具申する。		
委員長	白岩 善博	筑波大学大学院生命環境科学研究科
委員	笠井 清美	(独)放射線医学総合研究所
	小島 周二	東京理科大学薬学部
	佐々木 徹	(地独)東京都健康長寿医療センター研究所
	竹島 一仁	名古屋大学アイソトープ総合センター
	田中 淳	(独)日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門
	塚田 祥文	(財)環境科学技術研究所
	都筑 幹夫	東京薬科大学生命科学部
	丹生谷 博	東京農工大学遺伝子実験施設
	古川 純	筑波大学アイソトープ総合センター／大学院生命環境科学研究科
	星野 洪郎	群馬大学大学院医学系研究科
	柳沢 啓	(独)放射線医学総合研究所

安定同位元素専門委員会

安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。

委員長	米山 忠克	東京大学名誉教授
委員	足立 恭子	新日鐵化学(株)基盤技術センター
	瓜田 純久	東邦大学医学部
	折笠 敬	大陽日酸(株)
	風早 康平	(独)産業技術総合研究所
	梶原 康宏	横浜薬科大学薬学部
	高取 和彦	明治薬科大学薬学部
	田中 福代	(独)農業・食品産業技術総合研究機構
	濱 健夫	筑波大学大学院生命環境科学研究科

薬学・薬理学研究専門委員会

薬学・薬理学研究分野におけるアイソトープ利用の促進を図るための諸活動を行う。

委員長	小島 周二	東京理科大学薬学部
委員	加藤 真介	横浜薬科大学薬学部
	金子 実	東京理科大学環境安全センター
	佐々木 徹	(地独)東京都健康長寿医療センター研究所
	杉山 英男	帝京平成大学健康メディカル学部
	平田 幸也	日本たばこ産業(株)医薬総合研究所
	堀江 正信	東京薬科大学薬学部

2.3 医学・薬学部会

2.3.1 概要

医学・薬学部会では、アイソトープの医学、薬学分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを専門委員会を中心に実施しています。

2.3.2 第23期医学・薬学部会（任期：平成22年6月～平成24年5月）の構成

常任委員会 医学・薬学分野におけるR I・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。		
部会長	久保 敦司	国際医療福祉大学三田病院
副部会長	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
常任委員	山下 孝	癌研有明病院
	米倉 義晴	(独)放射線医学総合研究所
	油野 民雄	旭川医科大学
	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	伊藤 健吾	(独)国立長寿医療研究センター
	井上 登美夫	横浜市立大学大学院医学研究科
	遠藤 啓吾	群馬大学大学院医学系研究科
	大野 和子	京都医療科学大学医療科学部
	菅野 巖	(独)放射線医学総合研究所
	日下部きよ子	東京女子医科大学名誉教授
	桑原 康雄	福岡大学病院
	小泉 潔	東京医科大学八王子医療センター
	小須田 茂	防衛医科大学校
	渋谷 均	東京医科歯科大学医学部
	玉木 長良	北海道大学大学院医学研究科
	利波 紀久	富山県済生会富山病院
福喜多 博義	(独)国立国際医療研究センター国府台病院	
福田 寛	東北大学加齢医学研究所	
細野 眞	近畿大学医学部	
本田 憲業	埼玉医科大学総合医療センター	
松田 博史	埼玉医科大学国際医療センター	

企画専門委員会 部会活動の見直しと活性化を図るため企画、立案、調整を行う。		
委員長	久保 敦司	国際医療福祉大学三田病院
副委員長	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
委員	尾川 浩一	法政大学理工学部
	織内 昇	群馬大学大学院医学系研究科
	小泉 潔	東京医科大学八王子医療センター
	小泉 満	(独)放射線医学総合研究所
	棚田 修二	国際医療福祉大学三田病院
	中嶋 憲一	金沢大学医薬保健研究域医学系
	西村 哲夫	静岡県立静岡がんセンター
	福喜多 博義	(独)国立国際医療研究センター国府台病院
	藤井 博史	(独)国立がん研究センター東病院

核医学イメージング・検査技術専門委員会

- ①核医学イメージング技術水準の向上に資するため、イメージングの規格化に関する検討を行う。
②核医学検査技術の向上と核医学機器の安全管理に関する調査・検討を行う。

委員長	本田 憲業	埼玉医科大学総合医療センター
副委員長	福喜多 博義	(独)国立国際医療研究センター国府台病院
委員	飯田 恭人	東京大学医学部附属病院
	大西 英雄	県立広島大学大学院総合学術研究科
	金谷 信一	東京女子医科大学病院
	菊池 敬	北里大学病院
	木田 哲生	滋賀医科大学医学部附属病院
	篠原 広行	首都大学東京健康福祉学部
	松田 博史	埼玉医科大学国際医療センター
	丸野 廣大	虎の門病院
	村山 秀雄	(独)放射線医学総合研究所

放射性医薬品専門委員会

放射性医薬品の利用促進と施設内取扱いに関する検討を行う。

委員長	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
委員	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	井上 修	大阪大学大学院医学系研究科
	小野口 昌久	金沢大学医薬保健研究域保健学系
	金谷 信一	東京女子医科大学病院
	窪田 和雄	(独)国立国際医療研究センター病院
	藤林 靖久	(独)放射線医学総合研究所
	前田 稔	第一薬科大学
	間賀田 泰寛	浜松医科大学光量子医学研究センター
	安原 真人	東京医科歯科大学医学部附属病院

放射性医薬品安全性専門委員会

放射性医薬品の安全性確保に資するため、放射性医薬品副作用事例等の調査・検討を行う。

委員長	松田 博史	埼玉医科大学国際医療センター
委員	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	岡沢 秀彦	福井大学高エネルギー医学研究センター
	岡村 光英	大阪府済生会中津病院
	水村 直	東邦大学医療センター大森病院
	横山 邦彦	公立松任石川中央病院

ポジトロン核医学利用専門委員会

ポジトロン放出核種による放射性薬剤の成熟技術・成熟薬剤の認定と指針の作成を行い、PET検査の臨床利用に関する検討を行う。

委員長	米倉 義晴	(独)放射線医学総合研究所
副委員長	伊藤 健吾	(独)国立長寿医療研究センター
	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
委員	井上 登美夫	横浜市立大学大学院医学研究科
	織内 昇	群馬大学大学院医学系研究科
	千田 道雄	先端医療センター
	玉木 長良	北海道大学大学院医学研究科
	畑澤 順	大阪大学大学院医学研究科
	福田 寛	東北大学加齢医学研究所
	福村 利光	(独)放射線医学総合研究所
	藤林 靖久	(独)放射線医学総合研究所
	間賀田 泰寛	浜松医科大学光量子医学研究センター

医療放射線管理専門委員会

核医学検査等における放射線管理に関する検討を行う。

委員長	井上 登美夫	横浜市立大学大学院医学研究科
副委員長	菊地 透	自治医科大学R Iセンター
委員	大野 和子	京都医療科学大学医療科学部
	日下部きよ子	東京女子医科大学名誉教授
	中村 豊	国立病院機構相模原病院
	山口 一郎	国立保健医療科学院
	山下 孝	癌研有明病院

放射線治療専門委員会

密封線源等による放射線治療に関する検討を行う。

委員長	山下 孝	癌研有明病院
委員	渋谷 均	東京医科歯科大学医学部
	土器屋 卓志	埼玉医科大学国際医療センター
	西村 哲夫	静岡県立静岡がんセンター
	晴山 雅人	札幌医科大学
	萬 篤憲*	国立病院機構東京医療センター

* 平成23年3月から

放射性医薬品の臨床評価専門委員会

放射性医薬品の開発を推進するため、放射性医薬品の臨床評価のためのガイドライン作成に向けた検討を行う。

委員長	油野 民雄	旭川医科大学
委員	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	日下部きよ子	東京女子医科大学名誉教授
	久保 敦司	国際医療福祉大学三田病院
	小泉 潔	東京医科大学八王子医療センター
	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
	西村 重敬	埼玉医科大学国際医療センター
	本田 憲業	埼玉医科大学総合医療センター
	間賀田 泰寛	浜松医科大学光量子医学研究センター

アイソトープ内用療法専門委員会

アイソトープの内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

委員長	遠藤 啓吾	群馬大学大学院医学系研究科
委員	油野 民雄	旭川医科大学
	江口 研二	帝京大学医学部医学科
	岡本 真一郎	慶應義塾大学医学部
	小椋 美知則	名古屋第二赤十字病院
	絹谷 清剛	金沢大学医薬保健研究域医学系
	日下部きよ子	東京女子医科大学名誉教授
	久保 敦司	国際医療福祉大学三田病院
	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
	飛内 賢正	(独)国立がん研究センター中央病院
	成田 浩人	東京慈恵会医科大学附属病院
	細野 眞	近畿大学医学部
	山口 一郎	国立保健医療科学院
	山下 孝	癌研有明病院
	池淵 秀治	(社)日本アイソトープ協会
	中村 吉秀	(社)日本アイソトープ協会

2.4 放射線取扱主任者部会

2.4.1 概要

放射線取扱主任者部会では、R I・放射線の安全取扱、管理に関する知識・技術の向上と普及を図り、放射線障害の防止と放射線取扱主任者等の地位向上に寄与するための諸活動を実施しています。

2.4.2 第26期放射線取扱主任者部会（任期：平成22年6月～平成24年5月）の構成

本部運営委員会		
部会の目的を達成するため、その運営を円滑に推進するとともに支部間の連絡調整を行う。		
部会長	斎藤 直	大阪大学ラジオアイソトープ総合センター
副部会長	松田 尚樹	長崎大学先端生命科学研究支援センター
	宮越 順二	京都大学生存圏研究所
本部運営委員	林 正信	酪農学園大学獣医学部
	大槻 勤	東北大学電子光理学研究センター
	梶本 和義	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター
	河野 孝央	核融合科学研究所ヘリカル研究部
	川本 卓男	京都大学放射性同位元素総合センター
	中島 覚	広島大学自然科学研究支援開発センター
	福德 康雄	鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター
	野村 貴美	東京大学大学院工学系研究科
	伊丹 純	(独)国立がん研究センター中央病院

【支部組織】

各支部は、放射線取扱主任者部会規定の目的に則り、統括する地域の部会員を対象に支部活動を行う。

北海道支部委員会		
支部長	林 正信	酪農学園大学獣医学部
委員	伊藤 慎二	北海道薬科大学
	稲波 修	北海道大学大学院獣医学研究科
	野矢 洋一	北海道大学アイソトープ総合センター
	早川 均	北海道電力(株)泊発電所

東北支部委員会		
支部長	大槻 勤	東北大学電子光理学研究センター
委員	加藤 元久	東北大学大学院医学系研究科
	佐藤 和則	東北大学加齢医学研究所
	十和田 誠	岩手医科大学共同研究部門
	野田 喜美雄	日本原燃(株)

関東支部委員会

支 部 長	梶本 和義	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター
委 員	浅見 文克	(株)千代田テクノ
	江田 正明	ゼリア新薬工業(株)中央研究所
	大内 明夫	大内放射線エンジニアリング事務所
	奥野 功一	(株)間組技術研究所
	小柳 充	新潟大学農学部
	金子 実	東京理科大学環境安全センター
	鈴木 崇彦	東京大学大学院医学系研究科
	土井 妙子	(独)国立環境研究所
	富田 悟	東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター
	松本 義久	東京工業大学原子炉工学研究所
	梁田 哲夫	アロカ(株)

中部支部委員会

支 部 長	河野 孝央	核融合科学研究所ヘリカル研究部
委 員	石原 正司	名古屋市立大学大学院医学研究科
	緒方 良至	名古屋大学医学部
	小島 久	名古屋大学アイソトープ総合センター
	西 泰明	三重大学生命科学研究支援センター
	日比 章五	(株)豊田中央研究所
	山口 哲郎	(株)千代田テクノ名古屋営業所
	和田 真由美	福井大学ライフサイエンス支援センター

近畿支部委員会

支 部 長	川本 卓男	京都大学放射性同位元素総合センター
委 員	飯田 敏行	大阪大学大学院工学研究科
	稲垣 昌代	近畿大学原子力研究所
	大河原 賢一	製薬放射線カンファレンス
	尾崎 誠	京都工芸繊維大学高度技術支援センター
	小久保 友絵	(株)アトックス大阪営業所
	佐々木 将博	先端医療センター
	杉村 幸治	日本メジフィジックス(株)
	谷 康輔	ポニー工業(株)
	松本 敦	(株)コーガアイソトープ

中国・四国支部委員会

支 部 長	中島 覚	広島大学自然科学研究支援開発センター
委 員	秋山 浩一	愛媛大学総合科学研究支援センター
	坂口 修一	山口大学総合科学実験センター
	鈴木 孝夫	鳥取大学生命機能研究支援センター
	中西 徹	就実大学薬学部

九州支部委員会

支 部 長	福德 康雄	鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター
委 員	馬田 敏幸	産業医科大学アイソトープ研究センター
	萱野 信二	(株)千代田テクノ福岡営業所
	後藤 稔男	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター
	百島 則幸	九州大学アイソトープ総合センター

【本部組織】

企画委員会		
部会の根幹を支え部会の事業および組織全般に関して、企画立案し、審議・推進する。		
委員長	宮越 順二	京都大学生存圏研究所
委員	大倉 一枝	北海道医療大学薬学部
	小野 俊朗	岡山大学自然生命科学研究支援センター
	加藤 真介	横浜薬科大学薬学部
	島崎 達也	熊本大学生命資源研究・支援センター
	庄司 美樹	富山大学生命科学先端研究センター
	滝 剣朗	(独)理化学研究所横浜研究所
	角山 雄一	京都大学放射性同位元素総合センター分館
	山下 順助	秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター

広報委員会		
部会員相互のコミュニケーションと外部への広報活動を行い、部会員の資質向上と部会の地位向上に寄与する。		
委員長	松田 尚樹	長崎大学先導生命科学研究支援センター
委員	上菘 義朋	(独)理化学研究所仁科加速器研究センター
	小野 孝二	大分県立三重病院
	川辺 睦	岡山大学大学院保健学研究科
	鈴木 朗史	長瀬ランダウア(株)
	桧垣 正吾	東京大学アイソトープ総合センター
	古田 悦子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
	矢鋪 祐司	日本たばこ産業(株)医薬総合研究所

法令検討委員会		
放射線取扱主任者の立場から、法令に係る検討を行い、意見具申案を作成する。		
委員長	野村 貴美	東京大学大学院工学系研究科
委員	杉浦 紳之	近畿大学原子力研究所
	角田 昌彦	(独)日本原子力研究開発機構原子力科学研究所
	中西 正一	三菱電機(株)電力システム製作所
	矢野 和秀	(株)千代田テクノル
	渡辺 雄三	順天堂大学大学院医学研究科

2.5 その他の委員会

Isotope News編集委員会 Isotope Newsを編集、刊行する。		
委員長	小島 周二	東京理科大学 薬学部
委員	岡田 淳一	成田赤十字病院 放射線科
	高橋 浩之	東京大学大学院 工学系研究科
	福喜多 博義	国立国際医療研究センター国府台病院 放射線診療部
	古田 悦子	お茶の水女子大学 大学院
	村松 康行	学習院大学 理学部
	吉永 信治	(独)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター

RADIOISOTOPES編集委員会 (任期：平成21年1月～平成22年12月) RADIOISOTOPESを編集、刊行する。		
委員長	柴田 徳思	(独)日本原子力研究開発機構
副委員長	氏平 祐輔	東京大学名誉教授
委員	今泉 洋	新潟大学 自然科学系 (工学部)
	宇野 公一	順天堂大学客員教授
	海老原 充	首都大学東京 大学院理工学研究科
	小須田 茂	防衛医科大学校 放射線医学講座
	小林 慶規	(独)産業技術総合研究所
	杉浦 紳之	近畿大学 原子力研究所
	中西 友子	東京大学 大学院農学生命科学研究科

出版企画委員会 アイソトープ、放射線等の利用と安全管理に関する各種の参考図書、視聴覚教材の編集、刊行について、企画、調整を行う。		
(改組中)		

ICRP勧告翻訳検討委員会 国際放射線防護委員会 (ICRP) の諸勧告の日本語版の翻訳・刊行に係る検討を行う。		
委員長	佐々木 康人	(社)日本アイソトープ協会
副委員長	丹羽 太貫	バイオメディックス (株)、ICRP主委員会
副委員長	今村 恵子	聖マリアンナ医科大学放射線医学講座
委員	藤元 憲三	原子力安全委員会技術参与
	神田 玲子	(独)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター
	木内 伸幸	(独)日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
	中村 佳代子	(社)日本アイソトープ協会

講習会企画委員会

各講習会を企画、実施する。

委員長	井戸 達雄	(社)日本アイソトープ協会
委員	中西 友子	東京大学 大学院農学生命科学研究科
	井尻 憲一	東京大学 アイソトープ総合センター
	片田 元己	元首都大学東京
	瀧上 誠	元東京慈恵会医科大学
	小島 周二	東京理科大学 薬学部
	上蓑 義朋	(独)理化学研究所

NMCC共同利用委員会（任期：平成22年10月～平成24年9月）

NMCCの全国共同利用を円滑に推進する。

委員長	小川 彰	岩手医科大学
委員	石井 慶造	東北大学大学院工学研究科
	石川 和克	岩手県立大学看護学部
	伊藤 伸彦	北里大学獣医学部
	岩田 錬	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
	江原 茂	岩手医科大学医学部
	小笠原 邦昭	岩手医科大学医学部
	織原 彦之丞	東北工業大学共通教育センター
	澤本 潤	岩手県立大学ソフトウェア情報学部
	小豆嶋 正典	岩手医科大学歯学部
	寺山 靖夫	岩手医科大学医学部
	藤村 朗	岩手医科大学歯学部
	佐々木 康人	(社)日本アイソトープ協会

2.6 講演会・見学会等

2.6.1 理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
4・23	京都大学 原子炉実験所	R & I 見学会 見学：BNCT（ホウ素中性子補足療法）加速器、FFAG（固定磁場強収束型）加速器、KUR（京都大学研究用原子炉） 施設紹介	理
4・24	日本アイソトープ協会	講習会 第13回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会 1 放射線安全管理－法令、届出事項及び退出基準について 2 臨床応用 3 読影・判定について 4 放射線安全管理－放射線測定及び放射性廃棄物の安全管理について 5 放射線安全管理－内用療法用放射性医薬品の安全管理 6 教育訓練－管理区域の入退室について 7 実習： ⁹⁰ Y-イブリツモマブ チウキセタンの標識調製法、標識率の確認、放射性廃棄物の処理方法等について	医
5・15	家の光会館	講習会 第9回 有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89治療安全取扱講習会 1 放射線安全管理 (1)内用療法用放射性医薬品の安全管理 2 放射線安全管理 (2)法令、届出事項及び退出基準について 3 放射線安全管理 (3)放射線測定と放射性廃棄物の安全管理 4 臨床応用	医
5・31	群馬大学 重粒子線医学研究センター 医学部附属病院	アイソトープ利用講演・見学会／R & I 見学会 見学：重粒子線医学研究センター、放射線治療施設、核医学検査施設 講演： 1 重粒子線の生物学関連 2 重粒子線での治療関連 3 核医学関連	ラ 理
7・8	日本科学未来館	インフォーマルミーティング（理工学部会連絡会） 1 部会活動報告 (1)理工学部会の活動について (2)専門委員会報告 ・放射線防護機器専門委員会報告 ・超低レベル放射能測定専門委員会 ・中性子イメージング専門委員会 2 講演 「スペクトロメトリー半世紀」 岡野 眞治氏（元理化学研究所）	理

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
7・31	日本アイソトープ協会	講習会 第14回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会 内容は第13回（4・24開催）に同じ	医
9・22	東京大学農学部 2号館化学第3講義室	平成22年度安定同位体利用技術研究会 1 同位体的アプローチによる都市の地下水システムの研究 ーエコロジカルな都市づくりのためにー 2 アミノ酸の窒素同位体比を用いた新しい生態系解析のツールとその応用 3 炭素・窒素の安定同位体比による環境解析 ー生物間相互作用から流域の物質代謝までー 4 熱帯森林エコシステムは窒素欠乏か？ー $\delta^{15}\text{N}$ 値が語るー 5 安定同位体を用いた食品産地判別の現状と課題	ラ
10・1 ～10・2	松風園（愛知県 三河三谷）	平成22年度オータムセミナー ー放射線イメージングー 特別講義 テラヘルツイメージング技術の現状と展望 1 符号化開口(Coded aperture)によるガンマ線イメージング 2 高度計算機科学を活用した中性子ビジュアルセンシング技術 3 イメージングSIMS技術と宇宙同位体科学研究 4 放射線教育のための自然物品のオートラジオグラフィ 5 分子イメージングによる統合的ライフサイエンスの推進と創薬プロセスの革新 6 分子イメージングで見る脳機能と疾患診断 7 分子イメージングを活用した創薬科学：動物PETによる前臨床評価 ポスター発表	理 ラ
10・16	日本アイソトープ協会	講習会 第15回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会 内容は第13回（4・24開催）に同じ	医
11・16	日本原子力研究 開発機構（高崎 量子応用研究 所）	R & I 見学会 見学：サイエンスプラザ、コバルト60ガンマ線照射施設、 電子加速器、イオン照射研究施設 講演： 1 概要及び施設紹介 2 環境・産業応用研究ユニット研究紹介 3 量子生命・バイオ技術ユニット研究紹介	理

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
12・11	飯田橋レイン ボービル	講習会 第10回 有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89 治療安全取扱講習会 内容は第9回（5・15開催）に同じ	医
1・22	日本アイソトープ 協会	講習会 第16回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の 安全取扱講習会 内容は第13回（4・24開催）に同じ	医
2・19	家の光会館	講習会 第13回 高線量率ラルス医療安全取扱講習会 1 高線量率ラルス線源・装置の安全取扱い 2 装置・器具のQAQC、線量測定法 3 子宮頸癌の放射線治療の動向 4 「子宮頸癌腔内照射マニュアル：手順と解説」（厚労省 石倉班）について 5 治療計画：マンチェスター法に準じた腔内照射について	医
2・19	家の光会館	講習会 第14回 ヨウ素125シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源 治療の安全取扱講習会 1 シード療法総論 2 安全管理ガイドラインと1年以内死亡時対応マニュアルの解説 3 看護の実際 4 物理QAガイドラインの解説	医

2.6.2 放射線取扱主任者部会

(1) 平成22年度主任者部会年次大会（第51回放射線管理研修会）

月・日	会場、場所	演題等
11・4 ～ 5	京都テルサ	部会総会 部会の活動報告・活動計画 特別講演Ⅰ（文部科学省） 放射線障害防止法を巡る最近の動向 特別講演Ⅱ 今なお輝く京の伝統文化に学ぶ「能、狂言の 現代的な意義」 シンポジウムⅠ 社会に開かれた主任者活動を目指して シンポジウムⅡ 地震・カミナリ・火事・オヤジにどう備えるか シンポジウムⅢ 放射線利用の現状と展望 ポスター発表 23題 見学会 島津創業記念資料館

(2) 研修会、勉強会及び法定の教育訓練講習会等

○北海道支部

月・日	会場、場所	演題等
4・23	北海道大学アイソトープ総合センター	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
6・5	北海道大学大学院工学研究科	平成22年度原子力オープンスクール（主催：日本原子力学会北海道支部。北海道大学大学院工学研究科と共催）
10・22	北海道電力(株)泊発電所	見学会
2・4	北海道大学学術交流会館	北海道安全管理研修会・アイソトープ利用研究会（主催：北海道大学アイソトープ総合センター。共催：北海道支部。後援：日本放射線安全管理学会）

○東北支部

月・日	会場、場所	演題等
5・28	東京エレクトロンホール宮城	教育訓練講習会（新規教育・再教育）（東北放射線科学センターと共催）

○関東支部

月・日	会場、場所	演題等
4・19	日本青年館	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅰ（新規教育）
5・19	家の光会館	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅱ（新規教育）
5・24	国際ファッションセンタービル	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅲ（再教育）
5・28	家の光会館	教育訓練講習会－密封線源・認証機器の安全取扱（新規教育・再教育）
10・21	家の光会館	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅳ（新規教育）
10・12	国際ファッションセンタービル	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅴ（再教育）
1・19	J-PARC(大強度陽子加速器施設)	見学会（筑波放射線安全交流会と共催）

○中部支部

月・日	会場、場所	演題等
5・14	名古屋商工会議所	第22回教育訓練講習会（新規教育・再教育）（中部原子力懇談会と共催）
9・3	(株)大同キャスティングス名古屋工場	見学会・支部交流会
2・25	東桜会館	研修会・支部交流会（後援：中部原子力懇談会）

○近畿支部

月・日	会場、場所	演題等
5・14	新梅田研修センター	教育訓練講習会Ⅰ（新規教育・再教育）
11・15	京都大学放射性同位元素総合センター	教育訓練講習会Ⅱ（新規教育・再教育）

○中国・四国支部

月・日	会場、場所	演題等
5・14	岡山大学創立五十周年記念館	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
9・24	広島大学医学部	第17回支部主任者研修会・情報交換会

○九州支部

月・日	会場、場所	演題等
5・11	福岡リーセントホテル	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
11・19	サザンプラザ海邦	第17回支部主任者研修会・交流会

(3) 講師派遣

38事業所等からの依頼を受けて法定教育訓練の講師を派遣した。

2.6.3 NMCC共同利用委員会

第16回NMCC共同利用研究成果発表会

会 期	平成22年 5月14日～15日
会 場	岩手医科大学歯学部
特 別 講 演	「PETによる臨床脳循環研究の重要性—岩手から世界へのエビデンスの発信—」 小笠原邦昭（岩手医科大学脳神経外科学）
発 表 演 題	41件（PET：6件、PIXE：30件、技術開発・薬剤・基礎：5件）
参 加 者	79名
報 文 集	NMCC共同利用研究成果報文集16（2009） CD-ROM版 平成23年3月発行

3. 第47回アイソトープ・放射線研究発表会

会 期	平成22年 7月 7日～ 9日
会 場	日本科学未来館
主 催	日本アイソトープ協会
共 催 学 協 会	62学・協会
特 別 講 演	・「電池開発へのアイソトープ・放射線利用の現状と将来」 ・「メタボリックシンドロームと心臓病」 ・「J-PARCパルス中性子源によるエネルギー分析型中性子イメージング」
パ ネ ル 討 論	・「液体シンチレーションカウンターによる低レベル放射能測定の現状」 ・「アイソトープ・放射線で植物の何を明らかにできるのか？」 ・「放射線誘起による突然変異育種の現状と展望」 ・「乳がん治療の進歩—小さな手術と放射線療法—」 ・「実験・実習教材の普及・活用による放射線教育の新展開」
研究発表件数	174件（口頭発表：149件、ポスター発表：25件）
要 旨 集	第47回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集
参加登録者数	505名

（第47回アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会）

4. CJK Congress（中・日・韓アイソトープ協会会議）

会 期	平成22年10月19日、20日
会 場	Yuanchenxin International Hotel（北京）
日本側参加者	23名
セッション	Session 1: Current status on production and application of radioisotopes Session 2: Research and development of radiopharmaceuticals Session 3: Clinical application of radioisotopes Session 4: Radioisotopes utilized in other fields Session 5: Radiation processing
テクニカルツアー	10月20日 China Institute of Atomic Energy（北京）

5. 講習会

5.1 文部科学省・厚生労働省登録講習

5.1.1 第1種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第316回	平成22年 4月 5日 ～ 4月 9日	31名	31名
第317回	平成22年 4月19日 ～ 4月23日	25名	25名
第318回	平成22年 6月28日 ～ 7月 2日	31名	31名
第319回	平成22年 7月12日 ～ 7月16日	32名	32名
第320回	平成22年10月25日 ～ 10月29日	32名	32名
第321回	平成22年11月15日 ～ 11月19日	32名	32名
第322回	平成22年12月13日 ～ 12月17日	32名	32名
第323回	平成23年 1月17日 ～ 1月21日	32名	32名
第324回	平成23年 1月31日 ～ 2月 4日	32名	32名
第325回	平成23年 2月14日 ～ 2月18日	32名	32名
第326回	平成23年 2月28日 ～ 3月 4日	32名	32名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第35条第2項に定める講習

対象 第1種放射線取扱主任者試験合格者で18歳以上の者

講習内容 (1) 放射線の基本的な安全管理に関する課目
 (2) 放射性同位元素及び放射性同位元素によって汚染された物並びに放射線発生装置の取扱いの実務に関する課目
 (3) 使用施設等及び廃棄物詰替施設の安全管理の実務に関する課目
 (4) 放射線の量及び放射性同位元素による汚染の状況の測定の実務に関する課目
 (5) 修了試験

会 場 協会会議室及び実習室

5.1.2 第3種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第10回	平成22年 5月27日 ～ 5月28日	32名	32名
第11回	平成22年10月18日 ～ 10月19日	32名	32名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第35条第4項に定める講習

対象 18歳以上の者

講習内容 (1) 法に関する課目
 (2) 放射線及び放射性同位元素の概論
 (3) 放射線の人体に与える影響に関する課目
 (4) 放射線の基本的な安全管理に関する課目
 (5) 放射線の量の測定及びその実務に関する課目
 (6) 修了試験

会 場 協会会議室及び実習室

5.1.3 放射線取扱主任者定期講習

回	開催地	開催日	受講者数	修了者数
使1001回	飯田橋レインボービル (東京都新宿区)	平成22年 6月11日	60名	60名
販1001回			3名	3名
使1002回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成22年 7月23日	39名	39名
販1002回			1名	1名
使1003回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成22年 9月10日	35名	35名
販1003回			1名	1名
使1004回	北海道大学アイソトープ総合 センター (北海道札幌市)	平成22年10月 1日	35名	35名
販1004回			0名	0名
使1005回	大阪大学コンベンション センター (大阪府吹田市)	平成22年10月 8日	39名	39名
販1005回			0名	0名
使1006回	京都テルサ (京都府京都市)	平成22年11月 3日	13名	13名
販1006回			0名	0名
使1007回	飯田橋レインボービル (東京都新宿区)	平成22年11月12日	64名	64名
販1007回			2名	2名
使1008回	つくば国際会議場 (茨城県つくば市)	平成22年12月20日	23名	23名
販1008回			2名	2名
使1009回	国際ファッションセンター ビル (東京都墨田区)	平成23年 1月 7日	35名	35名
販1009回			3名	3名
使1010回	ピュアリティまきび (岡山県岡山市)	平成23年 1月14日	21名	21名
販1010回			0名	0名
使1011回	東桜会館 (愛知県名古屋市)	平成23年 1月28日	33名	33名
販1011回			0名	0名
使1012回	仙台市情報・産業プラザ (宮城県仙台市)	平成23年 2月 7日	19名	19名
販1012回			1名	1名
使1013回	福岡リーセントホテル (福岡県福岡市)	平成23年 2月25日	29名	29名
販1013回			0名	0名
使1014回	大阪大学中之島センター (大阪府大阪市)	平成23年 3月11日	36名	36名
販1014回			4名	4名
使1015回	飯田橋レインボービル (東京都新宿区)	平成23年 3月22日	36名	36名
販1015回			2名	2名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第36条の2に定める講習

対象 (1) 下記事業所等の選任された放射線取扱主任者
・許可届出使用者
・届出販売業者、届出賃貸業者（表示付認証機器のみを販売又は賃貸する者及び放射性同位元素等の運搬及び運搬の委託を行わない者を除く）
(2) 選任された放射線取扱主任者以外の者で本講習の受講を希望する者

講習内容 (1) 法に関する課目
(2) 放射性同位元素等の事故の事例に関する課目
(3) 放射性同位元素等の取扱いに関する課目
(4) 使用施設等の安全管理に関する課目

会場 上記の内、講習種別によって必要な課目を受講
東京、大阪及び全国の各都市

5.1.4 第一種作業環境測定士（放射性物質）講習（厚生労働省登録）

回	会 期	受講者数	修了者数
第93回	平成22年 6月17日～ 6月18日	42名	42名
第94回	平成22年12月 2日～12月 3日	44名	44名

備考：目的 「作業環境測定士法」第5条に定める講習
 対象 第一種作業環境測定士試験合格者又は作業環境測定士法第14条第3項により試験の全科目免除者
 講習内容 (1) 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務
 会 場 協会会議室及び実習室

5.2 その他講習会

5.2.1 アイソトープ基礎技術入門講習会

回	会 期	受講者数	修了者数
第79回	平成22年 5月17日～ 5月21日	10名	10名

備考：目的 非密封アイソトープの安全取扱いにおいて必要な基礎入門的な知識及び実習を通じて安全取扱いの基本の習得
 対象 特に新人教育向け
 講習内容 講義：アイソトープの物理、化学、放射線管理測定技術、放射線障害防止法など
 実習：測定実習、化学実習、生化学実習
 会 場 協会会議室及び実習室

5.2.2 ラジオアイソトープ安全取扱講習会

回	会 期	受講者数
第39回	平成22年 5月31日～ 6月 4日	44名

備考：目的 非密封ラジオアイソトープを安全に取扱うために必要な知識の習得
 対象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 アイソトープの基礎、放射線測定技術、放射線管理技術、放射線障害防止法
 会 場 協会会議室

5.2.3 密封線源安全取扱講習会

回	会 期	受講者数
第52回	平成22年 6月 7日～ 6月10日	32名

備考：目的 密封線源を安全に取扱うために必要な知識の習得。
 対象 密封線源取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 アイソトープの基礎、放射線測定技術、放射線管理技術、放射線障害防止法
 会 場 協会会議室

5.2.4 第1種主任者育成講習会

回	会 期	受講者数
第16回	平成22年 7月28日～ 7月30日	42名

備考： 目 的 第1種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ
 対 象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、
 技術者
 講習内容 物理学、化学、生物学、放射線測定技術、放射線管理技術、放射線障害
 防止法
 会 場 協会会議室

5.2.5 第2種主任者育成講習会

回	会 期	受講者数
第16回	平成22年 7月26日～ 7月27日	18名

備考： 目 的 第2種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ
 対 象 密封線源取扱いについて基礎的な知識を有する研究者、技術者
 講習内容 アイソトープの基礎、放射線測定技術、放射線管理技術、放射線障害
 防止法
 会 場 協会会議室

6. 図書等の発行

6.1 機関誌

6.1.1 Isotope News (広報誌) (No. 672~683) (Isotope News 編集委員会)

6.1.2 RADIOISOTOPES (学術誌) (Vol. 59 No. 4~Vol. 60 No. 3) (RADIOISOTOPES 編集委員会)

総説一覧

表 題

テクネチウム-99m供給不足事態における⁹⁹Mo/^{99m}Tc ジェネレータの重要性と核医学展望
—核医学専門医の立場から

¹³Cグルコース呼吸試験を利用した3次元還流培養系の活性測定とその応用

代謝解析におけるNMR技術開発の現状と将来展望

LHCの再スタートとそこで期待される物理

連載講座一覧

表 題

“中性子回折の基礎と応用”

(基礎5) 中性子回折による蛋白質単結晶の構造解析

(基礎6) 中性子小角散乱(SANS)によるナノ構造解析の基礎

(基礎7) 中性子による磁気構造解析の実際

(基礎8) 中性子反射率測定による表面界面構造解析の基礎

(基礎9) J-PARCにおける全散乱実験の展望

(基礎10) 中性子回折・全散乱法による液体・非晶質構造解析の基礎

(応用10) 化学における単結晶中性子構造解析

(応用11) フォトアクティブイエロープロテインの中性子結晶構造解析

(応用12) 中性子回折による創薬標的蛋白質の構造解析

(応用13) 中性子回折による非晶質合金と水素吸蔵非晶質合金の構造解析

(応用14) 中性子全散乱による2体分布関数を用いたナノ構造解析

(応用15) 中性子溶液散乱法による生体高分子の構造解析

(応用16) X線共鳴磁気反射率および偏極中性子反射率測定による磁気デバイス用MnIr/CoFe交換結合膜のスピン分布の研究

(応用17) X線および中性子反射率測定によるシリコンを添加したダイヤモンドライクカーボン薄膜の構造解析

(応用18) Nd₂Fe₁₄B型化合物の構造とハード磁性

(応用19) 中性子回折によるナノ磁性材料(磁気テープ材料)の磁気構造解析

(応用20) パルス強磁場下中性子回折

(応用21) マルチフェロイックRMnO₃およびRMn₂O₅の磁気構造の解析

(応用22) マルチフェロイックCuFeO₂のプロパーヘリカル磁気構造と自発電気分極

(応用23) 高温高圧下における中性子回折

(応用24) 匠を用いた工学回折研究

(応用25) 中性子反射率法によるソフト界面の構造解析

(応用26) 中性子回折による残留応力測定

(応用27) 低温中性子散乱実験用高圧発生装置

(応用28) 茨城県生命物質構造解析装置(iBIX)による水素・水和水の構造研究/産業利用

(応用29) 中性子超小角散乱法—歴史、発展そして応用—

(応用30) シンクロトロンX線回折および中性子回折による無機エレクトライドCa₁₂Al₁₄O₃₂の歪構造の精密解析

連載講座「中性子回折の基礎と応用」を終わるにあたって

6.2 出版物等

① 第51回 第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例	B5判	30ページ	504円
② 第54回 第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例	B5判	68ページ	735円
③ アイソトープ手帳 11版	変型A6判	195ページ	2,100円
④ 改訂版 放射線のABC	B5判	94ページ	1,260円

7. 共同利用

7.1 仁科記念サイクロトロンセンター共同利用

		研究課題 (件)	割当回数 (回)	利用実績 (回)	備考
前 期	PET	5	61	69	検査数 102
	PIXE	26	155	137	
	薬剤合成他	3	6	14	
	合 計	34	222	220	
後 期	PET	5	67	63	検査数 84
	PIXE	25	158	131	
	薬剤合成他	3	6	5	
	合 計	33	231	199	
年度合計		67	453	419	

8. 普及・啓発

8.1 第14回（2010年）RADIOISOTOPES誌論文奨励賞

受賞者 9名

8.2 平成22年度原子力・放射線安全管理功労表彰

開催日 11月 8日（月）

主催 (財)原子力安全技術センター、(財)日本分析センター、(社)日本アイソトープ協会、
(財)核物質管理センター

協賛 放射線障害防止中央協議会

後援 文部科学省

会場 東海大学校友会館

受賞者 放射線安全管理功労 12名、核燃料物質・試験研究炉等安全管理功労 2名
環境放射能対策功労 2名、原子力防災対策功労 1名・1事業所
核物質管理功労 2名 (合計 19名・1事業所)

8.3 公開講座

一般市民向けの公開講座「市民のためのしゃべり場「食べ物に放射線？」」

開催日 7月 9日（金） 15:30～17:30

主催 食のコミュニケーション円卓会議

共催 日本食品照射研究協議会、(社)日本アイソトープ協会

会場 日本科学未来館（第47回アイソトープ・放射線研究発表会と同時開催）

8.4 第20回滝沢研究所施設公開

日時 9月 5日（日） 9:00～15:00

イベント 施設見学会（茅記念滝沢研究所・仁科記念サイクロトロンセンター・武見記念館・
岩手医科大学超高磁場MRI研究施設）

講演会（岩手県立博物館 学芸員 川向 富貴子先生による

「病をいやす」～くすり・まじない・神だのみ～）

無料健康相談、無料骨密度測定、毛髪分析、アジリティー競技会など

参加者 約700名

8.5 武見記念館

展示内容 現代医学展示

身のまわりのアイソトープ・放射線展示

人工臓器ロボット

武見太郎先生日本医師会会長在職中備品

開館時間 10:00～16:00

（土・日・祝祭日、創立記念日(5月1日)、年末年始(12月29日～1月4日)を除く）

来館者数 465名

8.6 第51回「科学技術週間」施設公開

日時 4月12日(月)～ 4月16日(金)

茅記念滝沢研究所（医療RI廃棄物処理施設）

仁科記念サイクロトロンセンター（サイクロトロン、PET、PIXEなどの施設）

武見記念館（現代医学およびRI利用に関する展示）

9. 図書室の活動

9.1 新規収蔵図書

図 書 名	出 版 元
5版 密封線源の基礎 【第2種・第3種放射線取扱主任者のために】	(社)日本アイソトープ協会
IAEA安全基準シリーズNo. NS-G-1. 7安全指針 原子力発電所の設計における内部の火災と爆発に対する防護	(独)原子力安全基盤機構
IAEA安全基準シリーズNo. NS-G-2. 12安全指針 原子力発電所の経年変化管理	(独)原子力安全基盤機構
医療用PET薬剤講座	(社)日本アイソトープ協会
第51回第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例 第51回 平成21年8月21日 実施	(社)日本アイソトープ協会
第54回第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例 第54回 平成21年8月19日, 20日実施	(社)日本アイソトープ協会
放射線・アイソトープを取り扱う前に-教育訓練テキスト-	(社)日本アイソトープ協会
NCRP REPORT No. 162 SELF ASSESSMENT OF RADOATION-SAFETY PROGRAMS	NCRP
6版 放射線取扱の基礎【第1種放射線取扱主任者試験の要点】	(社)日本アイソトープ協会
第1種放射線取扱主任者試験 徹底研究	(株)オーム社
理科年表 平成22年	丸善(株)
Annals of the ICRP ICRP Publication 111 Application of the Commission's Recommendations to the Protection of People Living in Long-term Contaminated Areas after a Nuclear Accident or a Radiation Emergency	ELSEVIER
Annals of the ICRP ICRP Publication 112 Preventing Accidental Exposures from New External Beam Radiation Therapy Technologies	ELSEVIER
ICRU REPORT 83 Prescribing, Recording, and Reporting Photon-Beam Intensity-Modulated Radiation Therapy (IMRT)	Oxford University Press
平成21年版 原子力安全白書	佐伯印刷
平成21年版 原子力白書	(株)エネルギーフォーラム
NCRP REPORT No. 163 RADIATION DOSE RECONSTRUCTION:PRINCIPLES AND PRACTICES	NCRP
放射線影響・放射線防護用語辞典	(財)放射線影響協会

図 書 名	出 版 元
2010年 原子力規制関係法令集	大成出版社
IAEA安全基準シリーズNo. GSR Part4一般安全要件 第4編 施設と活動に対する安全評価	(独)原子力安全基盤機構
IAEA安全基準シリーズNo. NS-G-2. 13安全指針 既設の原子炉等施設に関する耐震安全性の評価	(独)原子力安全基盤機構
IAEA安全基準シリーズNo. NS-R-3安全要件 原子炉等施設の立地評価	(独)原子力安全基盤機構
アイソトープ手帳 11版	(社)日本アイソトープ協会
改訂版 放射線のABC	(社)日本アイソトープ協会

(受入れ順)

9.2 収蔵定期刊行物

図 書 名	出 版 元
JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY	(社)日本医学放射線学会
保健物理	日本保健物理学会
HEALTH PHYSICS	LIPPINCOTT WILLIAMS & WILKINS
科学新聞	科学新聞社
環境と健康	(財)体質研究会
原子力eye	日刊工業新聞社
APPLIED RADIATION AND ISOTOPES	ELSEVIER LTD.
JOURNAL OF LABELLED COMPOUNDS AND RADIOPHARMACEUTICALS	JOHN WILEY & SONS, LTD.
THE JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE	THE SOCIETY OF NUCLEAR MEDICINE, INC.
RADIATION PROTECTION DOSIMETRY	OXFORD UNIVERSITY PRESS
RADIATION RESEARCH	THE RADIATION RESEARCH SOCIETY

(上記以外にも数種類の定期刊行物を収蔵しています。)

資 料 部会活動の経過及び成果公表資料

1. 理工学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI装備機器調査専門委員会 〔昭和39年 4月～12月〕	○ 利用状況および問題点のアンケート調査 * 「放射性同位元素装備機器利用状況調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 3(1965)
ラジオグラフィ専門委員会 〔昭和39年 4月～43年 3月〕	○ γ 線ラジオグラフィ利用状況アンケート調査 * 「わが国における γ 線ラジオグラフィの利用状況」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965) ○ 感光材料の問題点検討 * 「ラジオグラフィにおける圧力効果による“フィルムむら”について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965) ○ ガンマ線ラジオグラフィ検査基準の確立および ^{192}Ir 線源国産化の検討 日本原子力研究所、ラジオグラフィ使用事業所（8社）、照射機メーカー（4社）と数回にわたって試用共同実験 * 以上の成果として、「ガンマ線ラジオグラフィ露出計算尺」作製（昭和41年10月。昭和48年実用新案登録）、「ガンマ線透過撮影法」（昭和43年3月刊行(1968)）
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○ 「RI理工学利用文献集」（昭和48年以前は「RI工業利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、理工文献題目集および理工文献紹介を掲載。
中性子水分計および γ 線密度計専門委員会 〔昭和40年 2月～44年 5月〕	○ 水分計、密度計の安定性に関する共同実験（14事業所が参加） * 「中性子水分計およびガンマ線密度計の安定性に関する共同実験結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 16, No. 2(1967) ○ 土の密度と含水量測定におけるRI法と在来法の比較共同実験 ○ 中性子水分計およびガンマ線密度測定法マニュアルの検討（未完結）
オートラジオグラフィ専門委員会 〔昭和42年10月～45年 5月〕	○ 金属オートラジオグラフィにおける感光材料の解像力に関する共同実験 * 「理工学におけるオートラジオグラフィの最近の研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 1(1970) * 「放射性銀試験体を用いたマイクロオートラジオグラフィの分解能に関する研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 11(1970)
線源専門委員会 〔昭和43年 5月～44年 3月〕	○ 各種密封線源について利用開発上の問題点、検査法等について検討

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
環境汚染物質の放射化分析に関する専門委員会 〔昭和46年 9月～49年11月〕	○ 技術上の問題点，利用促進のための当面および将来の体制整備等に関する検討 * 「環境汚染物質の放射化分析における諸問題」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975)
硫黄分析計専門委員会 〔昭和46年 9月～52年 9月〕	○ 硫黄分析計利用状況アンケート調査 石油中重金属の測定値に及ぼす影響に関する共同実験，硫黄分測定照合実験（参加20機関） * 「RI式硫黄分析計による重油試料測定上の問題点 1. 放射線透過式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 11(1975) * 「（同上） 2. 放射線励起式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975) * 「（同上） 3. 照合試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 2(1976) * 「JIS K2285-1978 石油製品放射線透過式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定） * 「JIS K2286-1978 石油製品放射線励起式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定）
流れの測定に関する専門委員会 〔昭和46年10月～49年 3月〕	○ 野外および各種工程における気体、液体、粉体の流れ・拡散の測定へのRI利用測定技術について検討 * 「表面水流れ測定へのアイソトープの利用」、 「化学反応装置内の流れの測定」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 3(1976)
環境物質放射化分析専門委員会 〔昭和50年 1月～51年 1月〕	○ 利用状況アンケート調査 * 「放射化分析利用の手引き 環境調査と放射化分析」（昭和51年5月）を自治体公害調査部門等へ配布 * 「環境物質の調査における放射化分析の利用状況」 Isotope News誌、昭和50年12月号(1975)
環境物質放射化分析マニュアル作成検討専門委員会 〔昭和51年 7月～52年 9月〕	○ 上記2専門委員会の活動成果に基づき、環境試料の放射化分析技術に関する手引書の作成について予備的検討 * 「放射化分析による環境調査－微量・多元素・同時分析の手法」（昭和54年3月刊行(1979)）
放射能標準体使用マニュアル作成専門委員会 〔昭和52年 2月～56年 7月〕	○ 各種の放射能標準体・標準線源の適正な使用に資する解説書の作成 * 「放射能標準体・標準線源とその使用法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 3～12(1979)、 Vol. 29, No. 1(1980) 昭和56年5月単行書刊行(1981)
利用機器専門委員会 〔昭和53年 6月～57年 5月〕	○ 放射性同位元素装備機器管理基準に関する調査（科学技術庁委託） * 「JIS Z4821 1981 密封放射線源」原案を作成（昭和56年3月制定） * 「RI装備機器・設計承認制度について」 Isotope News誌、昭和56年5月号(1981)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI野外トレーサ利用専門委員会設立検討会 〔昭和58年 3月～ 9月〕 放射線防護機器専門委員会 〔昭和58年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ RI野外トレーサ実験実施上の問題点を抽出し、野外トレーサ利用促進のための専門委員会作業の要否を明らかにし、専門委員会設置の要を報告 ○ 放射線防護機器に関する資料を収集・検討し、隔年毎に「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集・発行。 <ul style="list-style-type: none"> * 「1982年版」 (昭和57年発行) * 「1984年版」 (昭和59年発行) * 「1986/87年版」 (昭和61年発行) * 「1988/89年版」 (昭和63年発行) * 「1990/91年版」 (平成2年発行) * 「1992/93年版」 (平成4年発行) * 「1994/95年版」 (平成6年発行) * 「1996/97年版」 (平成8年発行) * 「1998/99年版」 (平成10年発行) * 「2000/01年版」 (平成12年発行) * 「2002/03年版」 (平成14年発行) * 「2004/05年版」 (平成16年発行) * 「2006/07年版」 (平成18年発行) * 「2008/09年版」 (平成20年発行) * 「2010/11年版」 (平成22年発行)
RI野外トレーサ実験調査委員会 〔昭和59年 4月～平成 2年 6月〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ RI野外利用の実施を探るため、理工学、農学・生物学の分野で実験の実現が望まれている代表的なモデルについて検討を行うとともに科学技術庁と懇談、折衝。技術基準・安全基準の検討、アンケート調査の実施、講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> * 「RI野外トレーサ利用アンケート集計結果報告」 Isotope News誌、昭和62年5月号“あいそとぴっく”(1987) * 「放射性トレーサの野外・現場利用の歴史と現状」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 4～6(1988) * 「放射性トレーサの野外・現場利用推進上の問題点」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 6(1990)
密封放射線源JIS改訂専門委員会 〔昭和60年 4月～12月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「JIS Z4821密封放射線源」 (昭和56年3月制定) の見直し
原子力用語JIS改訂専門委員会 〔昭和61年 8月～平成 4年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本工業規格「JIS Z4001原子力用語」の改訂に当たり、「放射線・アイソトープ利用・防護」部門の用語について調査検討。
理工分野における放射性廃棄物検討専門委員会 〔平成 3年 9月～ 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「研究分野における放射性廃棄物の取扱い」 (平成6年5月刊行(1994))

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
微弱アイソトープ利用技術専門委員会 〔平成 4年 6月～10年 5月〕	○ 微弱アイソトープ利用の促進と安全性の確保について調査・検討 * 「IAEA安全シリーズ No. 102、工業、医学、研究、教育分野におけるアイソトープの安全使用と規則に関する勧告の抄訳」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 3(1995) * 「微弱アイソトープの安全利用に関する調査研究報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 2～4(1999)
放射性同位体等の産業利用専門委員会 〔平成 7年 8月～12年 5月〕	○ 産業分野におけるRI利用技術の調査、許認可申請の標準化について検討を行った。 * 「RI・放射線の産業利用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 46, No. 5～10(1997) * 「放射性同位体等の産業利用専門委員会報告書」 (平成12年5月)
放射線教育専門委員会 〔平成7年 8月～16年 5月〕	○ 放射線教育入門テキスト〔ライフサイエンス分野編〕を編集し、テスト版として発行。(平成10年3月) 放射線教育入門テキスト〔医学・臨床分野編〕を(平成11年1月)編集し、テスト版として発行。
量子ビーム専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ ①新しい量子ビームの発生と利用、②半導体プロセスや医療への放射線利用、③量子ビーム利用に関する法規制の最適化等について検討を行うとともに、外部利用を受け付けるビーム利用施設の調査を行う。 * 「日本における研究用加速器施設の現状アンケートに関する中間報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 7(2003) * 「日本における研究用加速器施設の現状(2005)調査報告と量子ビーム利用の広がり」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 12(2005)
放射線イメージング専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ 放射線イメージングの技術・学問内容について調査し、他のイメージング技術も参照しつつ、放射線イメージング技術の新しい方向について検討。 * 「放射線イメージング技術の最前線」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 10～Vol. 53, No. 6(2003～2004)
超低レベル放射能測定専門委員会 〔平成16年 9月～現在〕	○ 通常の放射線計測技術では測定が困難なあるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。 * 「超低レベル放射能測定の現状と展望」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 4～No. 11(2006) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>中性子イメージング専門委員会 〔平成17年 9月～現在〕</p> <p>RI・放射線 一般向け教育実験ノート ワーキンググループ</p>	<p>○ 中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るための調査・検討を行う。</p> <p>* 「中性子イメージング技術の基礎と応用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 4～Vol. 57, No. 5(2007～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。</p> <p>○ RI・放射線関係者以外の人達にRI・放射線、ひいては自然現象に対する理解を深めて貰うことに寄与するため、RI・放射線等に関する教育的実験についての情報を集め、取り纏めてIsotope News誌に掲載。このような実験を多くの場に取り入れてもらおう一助とする。</p> <p>* 「RI・放射線 一般向け教育実験ノート」 Isotope News誌、平成18年4月号～平成19年5月号、平成20年3月号～5月号、7月号～12月号(2006～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。</p>

2. ライフサイエンス部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○「RI農学・生物学利用文献集」（昭和55年2月までは「RI農学・生物学利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、農学・生物学文献題目集および農学・生物学文献トピックスを掲載。
ラジオガスクロマトグラフィ専門委員会 〔昭和43年 3月～50年 9月〕	○農学・生物学分野におけるラジオガスクロマトグラフィに関する技術の利用開発、普及について調査、検討。
¹⁵ N専門委員会 〔昭和48年 9月～51年 2月〕	○内外の関係文献の調査と勉強会などを開催し、利用の知識・方法の普及を検討。 安定同位元素専門委員会へ発展的に改組。
安定同位元素専門委員会 〔昭和51年 3月～現在〕	○安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。 * 「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 6～Vol. 57, No. 3、Vol. 57, No. 9(2007～2008) 「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 7、Vol. 59, No. 11(2010)
微量R1の管理に関する専門委員会 〔昭和48年 9月～57年 5月〕	○生化学分野における微量RIの使用施設の在り方、排水処理の方法、貯蔵・保管の方法、固体廃棄物・有機廃液の処理等の可能性について検討。
遺伝子工学専門委員会 〔昭和61年10月～平成 4年 5月〕	○生物学関連の遺伝子工学分野におけるR1利用状況を調査 * 「遺伝子工学実験講座」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 10～Vol. 38, No. 2, 4(1987～1989) 合本し、「遺伝子工学実験 Strategy & Practice」として平成3年5月出版(1991)。
アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕	○RIをトレーサとして用いる研究用機器について、その原理、性能、特徴および適切な用途等の最新情報を収集し、公表した。 * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 10～No. 12、Vol. 43, No. 1(1993～1994) * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第二シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8～No. 12、Vol. 45, No. 1～No. 2(1995～1996) * 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第三シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 11～No. 12、Vol. 48, No. 1～No. 5、No. 7～No. 9、No. 11～No. 12、Vol. 49, No. 1～No. 2、No. 10～No. 12、Vol. 50, No. 1～No. 2(1998～2001) 第一、第二シリーズの合本冊子を作成。 第三シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成14年2月)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕</p>	<p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第四シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 3～No. 6、 Vol. 53, No. 3、Vol. 54, No. 1～No. 2、No. 7～ No. 8(2003～2005) 第四シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成17年9月)</p> <p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第五シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 7～No. 10、 Vol. 56, No. 3～No. 4、No. 9、Vol. 57, No. 2、 Vol. 58, No. 7 (2006～2009)</p>
<p>分子生物学分野のRI取扱専門委員会 (平成8年6月より、「ライフサイエンス分野 のRI取扱専門委員会」に名称変更) 〔平成 4年 6月～平成14年 5月〕</p>	<p>○ 分子生物学分野（ライフサイエンス分野）におけるRI取扱上の諸問題について安全で円滑な利用を図るための調査、検討を行った。</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告」 Isotope New誌、平成6年9月号“会員へのお知らせ”（1994）</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告 －「監督区域」設置の可能性を探るアンケートの結果－」 “会員へのお知らせ”（1995）</p> <p>* 「ライフサイエンスの話題」 Isotope News誌、平成15年2月号～5月号(2003)</p>
<p>薬学・薬理学研究専門委員会 〔平成 6年11月～現在〕</p>	<p>○ 薬学・薬理学研究分野におけるRI利用の問題点を調査した。</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分野のRI取扱いに関するアンケート結果－」 Isotope New誌、平成9年4月号“会員へのお知らせ”（1997）</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分野における放射線・放射能計測法に関するアンケート結果－」 Isotope New誌、平成11年11月号“会員へのお知らせ”（1999）</p> <p>* 「R I 計測のためのQ & A」 協会ホームページに掲載。（平成17年7月）(2005)</p> <p>* 「マイクロドーズ試験の現状と展望」 Isotope New誌、平成20年4月号“展望”（2008）</p>
<p>獣医核医学専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕</p>	<p>○ 伴侶動物への核医学診療における諸問題の検討を行う。</p> <p>* 「獣医核医学専門委員会 中間報告書」 (平成15年9月2日) (2003)</p>
<p>食品照射専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕</p>	<p>○ 食品照射についての内外の情報を集め、調査・検討を行う。</p> <p>* 「食品照射に関するQ & A」 協会ホームページに掲載。（平成20年11月）(2008)</p>

3. 医学・薬学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>インビトロテスト専門委員会 〔昭和46年 9月～平成22年 5月〕</p>	<p>* 「RIインビトロ検査全国コントロールサーベイ」 (第1回～21回までRADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>* 「イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」 (第22回より名称変更。RADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>第1回 (1978年実施)、Vol. 29, No. 11 (1980) 第2回 (1979年実施)、Vol. 30, No. 1 (1981) 第3回 (1980年実施)、Vol. 31, No. 7 (1982) 第4回 (1982年実施)、Vol. 32, No. 6 (1983) 第5回 (1983年実施)、Vol. 32, No. 7, 8 (1983) 第6回 (1984年実施)、Vol. 34, No. 9 (1985) 第7回 (1985年実施)、Vol. 35, No. 10 (1986) 第8回 (1986年実施)、Vol. 36, No. 10 (1987) 第9回 (1987年実施)、Vol. 37, No. 11 (1988) 第10回 (1988年実施)、Vol. 38, No. 10 (1989) 第11回 (1989年実施)、Vol. 39, No. 10 (1990) 第12回 (1990年実施)、Vol. 40, No. 10 (1991) 第13回 (1991年実施)、Vol. 41, No. 11 (1992) 第14回 (1992年実施)、Vol. 42, No. 11 (1993) 第15回 (1993年実施)、Vol. 43, No. 10 (1994) 第16回 (1994年実施)、Vol. 44, No. 11 (1995) 第17回 (1995年実施)、Vol. 45, No. 11 (1996) 第18回 (1996年実施)、Vol. 46, No. 11 (1997) 第19回 (1997年実施)、Vol. 47, No. 11 (1998) 第20回 (1998年実施)、Vol. 48, No. 11 (1999) 第21回 (1999年実施)、Vol. 49, No. 10 (2000) 第22回 (2000年実施)、Vol. 50, No. 10 (2001) 第23回 (2001年実施)、Vol. 51, No. 10 (2002) 第24回 (2002年実施)、Vol. 52, No. 10 (2003) 第25回 (2003年実施)、Vol. 53, No. 10 (2004) 第26回 (2004年実施)、Vol. 54, No. 10 (2005) 第27回 (2005年実施)、Vol. 55, No. 10 (2006) 第28回 (2006年実施)、Vol. 56, No. 10 (2007) 第29回 (2007年実施)、Vol. 57, No. 10 (2008) 第30回 (2008年実施)、Vol. 58, No. 10 (2009)</p> <p>* 「The Large “Kit-to-Kit” Variation in Insulin Radioimmunoassay is Mainly Due to Defference in Standard Concentration」 CHEMISTRY, Vol. 28, No. 12</p> <p>* 「An Inter- and Intra-laboratory Quality-Control Survey of Radioimmunoassay of Insulin, Thyroxin, Thyrotropin, Cortisol, Digoxin, Gastrin, β2-Microglobulin and IgE in Japan with Commercially Available Kits」 CHEMISTRY, Vol. 29, No. 8</p> <p>* 「RIインビトロ検査の現状と問題点」 Isotope News誌、1992年2～3月号</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射性医薬品安全性専門委員会 〔昭和50年10月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「放射性医薬品副作用事例調査報告」 核医学、16巻3号(1979) * 「第2回放射性医薬品副作用事例調査報告」 核医学、18巻3号(1981) * 「放射性医薬品副作用事例調査報告」 (第3報～32報まで『核医学』に掲載) 第3報(19巻7号(1982))、第4報(20巻4号(1983)) 第5報(21巻3号(1984))、第6報(22巻4号(1985)) 第7報(23巻4号(1986))、第8報(24巻4号(1987)) 第9報(25巻4号(1988))、第10報(26巻4号(1989)) 第11報(28巻3号(1991))、第12報(28巻4号(1991)) 第13報(29巻3号(1992))、第14報(30巻5号(1993)) 第15報(31巻3号(1994))、第16報(32巻6号(1995)) 第17報(33巻6号(1996))、第18報(34巻4号(1997)) 第19報(35巻3号(1998))、第20報(36巻3号(1999)) 第21報(37巻3号(2000))、第22報(38巻2号(2001)) 第23報(39巻1号(2002))、第24報(40巻1号(2003)) 第25報(41巻1号(2004))、第26報(42巻1号(2005)) 第27報(43巻1号(2006))、第28報(44巻1号(2007)) 第29報(45巻1号(2008))、第30報(46巻1号(2009)) 第31報(47巻1号(2010))、第32報(48巻1号(2011)) * 「放射性医薬品の副作用事例報告について—調査報告書における症例数と製薬会社が収集した自発症例数との比較—」 核医学、43巻4号(2006)
核医学イメージング規格化小委員会 〔昭和51年 1月～昭和52年12月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「アンガー型シンチレーションカメラの性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 26, No. 10(1977)
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「核医学イメージングの規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 11(1979) * 「シンチカメラ性能の定期点検に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 30, No. 7(1981) * 「キュリーメータの試験方法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 4(1983) * 「Single Photon Emission Computed Tomography装置の性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 3(1984) * 「核医学イメージングの規格化に関する勧告(1984改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983) * 「SPECT像表示の規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 8(1986) * 「核医学イメージングの規格化に関する勧告(1987年第2次改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 2～3(1988) * 「核医学イメージングのための小児への放射性医薬品投与量に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 11(1988)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「SPECT装置の回転軸ずれおよびイメージサイズ変動に関する日常試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 2(1990) * 「核医学イメージング装置の保守点検に関する実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 3(1992) * 「ガンマカメラによるデジタル画像の表示・記録に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 1(1994) * 「標準的な核医学イメージングプロトコール(1994年第3次改訂)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994) * 「日常臨床における心臓核医学検査の選択に関する試案」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 3(1996)
核医学技術専門委員会 (平成6年6月～8年5月まで核医学技術小委員会として核医学イメージング規格化専門委員会に置かれる) 〔昭和59年 6月～平成 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「核医学検査室における機器および施設等の安全管理に関するアンケート調査結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 9(1987) * 「核医学検査室における機器及び施設等の安全管理に関するアンケート調査報告 第2報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 11(1990) * 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第3報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 3(1994) * 「キュリーメータの測定精度実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994)
核医学イメージング・検査技術専門委員会 (平成8年より核医学イメージング規格化専門委員会と核医学技術小委員会が合併した) 〔平成 8年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第4報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 12(1996) * 「核医学画像と形態画像 (CT/MRI) の重ね合わせの現状と普及に向けての提案」 Isotope News誌、1997年11月号 * 「デジタルガンマカメラおよびSPECT装置の定期点検」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 5(1998) * 「核医学の安全管理等に関するアンケート調査報告 第5報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 8(1999) * 「全身イメージングにおける適正スキャン速度に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 7(2002) * 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第6報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 8(2002) * 「核医学紹介シリーズ」(平成14年10月) * 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第7報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 7(2005) * 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第8報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 7(2008)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
医療放射線管理問題専門委員会 〔昭和53年 1月～57年 7月〕	* 「平均使用数量の導入による ^{11}C 、 ^{13}N 、 ^{15}O 、 ^{18}F の 1日最大使用数量の求め方」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 31, No. 7(1982)
核医学用語分類専門委員会 〔昭和53年 1月～59年11月〕	* 「医療行為の国際分類(ICPM)コード利用による全国 核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983)
サイクロトロン核医学利用専門委員会 〔昭和56年 9月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> * 院内サイクロトロンにより製造される放射性薬剤の 臨床利用について Isotope News誌、1983年9月号 * 「日本アイソトープ協会医学・薬学部サイクロ トロン核医学利用専門委員会において成熟技術として 認定された放射性薬剤の基準と臨床使用に関する指 針：Ⅰ 医療施設ないし医学研究施設内の加速器等 で生産された超短寿命核種の臨床利用に関する指 針、Ⅱ 院内サイクロトロン放射性薬剤に関する指 針、Ⅲ 院内サイクロトロン放射性薬剤の臨床利用 に関する指針、Ⅳ サイクロトロン核医学利用専門 委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準 RADIOISOTOPES誌、Vol. 34, No. 11(1985) * 「院内サイクロトロン放射性薬剤の前臨床段階にお ける安全性の評価に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 11(1986) * 「日本アイソトープ協会医学・薬学部サイクロ トロン核医学利用専門委員会において成熟技術として 認定された放射性薬剤の基準と臨床利用に関する指 針(続報Ⅰ)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 8(1988) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術 として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針 (1990年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 40, No. 3(1991) * 「What is PET? “Q and A” —PETをよりよく理解 するために—」 * PET装置の性能評価のための測定指針(1992年4月) * PET装置の性能評価のための測定指針(1994年6月改 訂) RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術 として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針 (1994年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 6(1995) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術 として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針 (1999年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 12(1999) * 「PET薬剤製造施設基準」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000) * 「FDG-PET検査の臨床的有用性と医療経済効果に関 する全国調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000) * 「院内製造されたFDGを用いてPET検査を行うための ガイドライン」 核医学、38巻2号(2001)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>サイクロトロン核医学利用専門委員会 (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用 専門委員会」に名称変更) 〔昭和56年 9月～現在〕</p> <p>ポジトロン核医学利用専門委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001) * 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する解説」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001) * 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する参考資料」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001) * 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定追補)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 7(2001) * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、2003年11月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第2報」 Isotope News誌、2005年2月号 * 「院内製造されたFDGを用いたPET検査を行うためのガイドライン 第2版」 核医学、42巻4号(2005) * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第3報」 Isotope News誌、2006年10月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第4報」 Isotope News誌、2008年1月号 * 「保険診療に認められていない悪性腫瘍(癌、肉腫)の診断における^[18F]FDG-PETの臨床的有用性—多施設アンケート調査による検討—」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 1(2008) * 「PET用放射性医薬品の合成、分注、品質管理に携わる作業者の被ばく線量調査報告」 Isotope News誌、2008年10月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第5報」 Isotope News誌、2008年12月号 * 「PET核医学におけるサイクロトロン施設からの漏えい線量等に係る検討ワーキンググループ報告書」(2009) * 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009) * 「『ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)』に関する解説」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009) * 「『ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)』に関する参考資料」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
ポジトロン核医学利用専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> * 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の臨床使用の指針(2009年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009) * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第6報」 Isotope News誌、2009年6月号 * 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第7報」 Isotope News誌、2010年7月号 * 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準」の今後のあり方について—「研究」と「診療」の境界を結ぶ— RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 9(2010)
薬学専門委員会 (平成6年より「放射性医薬品専門委員会」に名称変更) [昭和44年 6月～平成 6年]	<ul style="list-style-type: none"> * 「放射性医薬品の最近の話題」(RADIOISOTOPES誌講座合本) RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 1～7(1984) * 「放射性医薬品の安全取扱と管理」 JJSHP、Vol. 26, No. 12 (1990)
放射性医薬品専門委員会 [平成 6年 6月～現在]	<ul style="list-style-type: none"> * 「治療用放射性医薬品に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、1998年11月号 * 「標識キット方式による^{99m}Tc放射性医薬品の調製について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 53, No. 3(2004) * 「薬による放射性医薬品の体内挙動の変化について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 1(2007)
放射線治療専門委員会 [昭和57年 6月～平成 4年 5月、 平成12年 6月～現在]	<ul style="list-style-type: none"> * 「医療用密封小線源の管理(RADIOISOTOPES誌講座合本)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 2～6(1987) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(初版・第二版)(2003) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第三版)(2004) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第四版)(2005) * 「前立腺癌小線源療法後1年以内死亡時の対応マニュアル」(2008) * 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第五版)(2011)
放射線治療委員会 [平成 4年 6月～12年5月]	<ul style="list-style-type: none"> * 「高線量率RALS安全取扱マニュアル」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 10(1999)
医療放射線管理専門委員会 [平成 8年 9月～現在]	<ul style="list-style-type: none"> * 核医学診療施設における研究ボランティアの放射線被ばくの現状と今後の課題 —RIを投与する臨床研究または治験を受けるボランティアの被ばくに関するアンケート調査報告— RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 11(2010)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学診療実態調査専門委員会 (平成8年より「全国核医学診療実態調査専門委員会」に名称変更)	* 「第2回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 38, No. 4(1989) * 「第3回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 9~10(1993)
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成 8年 6月~10年 5月〕	* 「第4回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 8(1998)
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成13年 9月~16年 5月〕	* 「第5回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 8(2003) * Nuclear medicine practice in Japan: A report of the 5th nationwide survey in 2002 Annals of Nuclear Medicine Vol. 18, No. 1
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成18年10月~20年 5月〕	* 「第6回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 8(2008) * Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007 Annals of Nuclear Medicine Vol. 23, No. 2
アイソトープ内用療法専門委員会 〔平成18年 5月~現在〕	* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」 (初版)(2007) * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」 (第二版・第三版)(2008) * 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(初版)(2008) * 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム(Sr-89)治療の適正使用マニュアル」 (第四版)(2009) * 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(第二版)(2009)
標識抗体医学利用専門委員会 〔昭和63年 4月~平成 3年 5月〕	* 「医学研究施設内で作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 12(1990) 核医学、第28巻3号(1991) 日本医放会誌、第51巻5号(1991)
放射性医薬品施設内管理専門委員会 〔平成 1年10月~ 4年 5月〕	* 「放射性医薬品の施設内取扱に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 2(1992)
免疫核医学専門委員会 〔平成 5年 7月~ 8年 5月〕	* 「遺伝子組換え技術を応用して作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994) * 「RI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8(1995)

4. 放射線取扱主任者部会

4.1 組織改正以前（昭和34年12月～平成 4年 5月）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>東京常任委員会 〔昭和34年12月～平成 4年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * Isotope News No. 68～382「主任者コーナー」の編集（1960.4～1992.5） * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第5～36回） <p>Isotope News(1961～1992)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「放射線施設の火災対策」（1961） * 「密封小線源の取扱」（1962） * 「個人外部被ばくモニタリングの手引き」（1964） * 「放射線管理実務マニュアルⅠ」（1983） * 「放射線施設の火災・地震対策」（1985） * 「外部被ばくモニタリング」（1986） * 「千葉県東方沖地震状況調査」 <p>Isotope News 1988年8月号</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「千葉県東方沖地震状況調査」 <p>Radioisotopes 38,2(1989)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「改訂放射線管理実務マニュアルⅠ」（1989） * 「放射線障害防止教育訓練用OHPシート」（1991） * 「放射線管理実務マニュアルⅡ」（1991） * 「現行法令の課題」（1992）
<p>関西常任委員会 〔昭和36年 7月～平成 4年 5月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第1～33回） <p>Isotope News(1961～1992)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「放射線とアイソトープ」（1962）
<p>中部常任委員会 〔昭和55年 6月～平成 4年 5月〕</p>	
<p>北海道地方委員 〔平成 2年 4月～平成 4年 5月〕</p>	
<p>東北地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕</p>	
<p>九州地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕</p>	
<p>基盤整備委員会 〔平成 2年11月～平成 3年 3月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成3年度主任者研修会（第32回部会総会）要旨集（補冊）」（1991） <p>基盤整備委員会報告書</p>
<p>新体制移行委員会 〔平成 3年 9月～平成 4年 3月〕</p>	

4.2 組織改正以後（平成 4年 6月～現在）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>【本部組織】 本部運営委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・企画委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・広報委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・法令検討委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・組織化推進委員会 〔平成 8年 6月～平成14年 5月〕</p>	<p>* 「平成 4年度主任者研修会（第33回部会総会）要旨集」（1992）</p> <p>* 「21世紀の主任者部会活動に向けて」（1996）</p> <p>* ニューメディア教育訓練用教材CD-ROM試作版（1999年8月）</p> <p>* Isotope News No. 383～683「主任者コーナー」の編集（1992.6～2011.3）</p> <p>* 「主任者ニュース」第 1～16号編集（1995～2010）</p> <p>* 「改訂 3 版 放射線管理実務マニュアル I」平成5年9月（1993）</p> <p>* 法令検討委員会報告（案）（現行法令の課題）（平成11年10月）</p> <p>* 法令検討委員会報告（現行法令の課題）平成12年度主任者年次大会要旨集, 2000, P. 223</p> <p>* 法令改正への対応に際してのQ & A（1） Isotope News, 2001, 6月号, P. 47</p> <p>* 法令改正への対応に際してのQ & A（2） Isotope News, 2001, 7月号, P. 50</p> <p>* Q & A：BSS免除レベルの取り入れで法令はどう変わるのか Isotope News, 2003, 11月号, P. 63</p> <p>* 法令検討委員会報告書「放射線取扱主任者のあり方」について Isotope News, 2004, 7月号, P. 79</p> <p>* 改正法令に関するQ & A：放射線障害防止法及び関係政省令等の改正について Isotope News, 2005, 6月号, P. 45</p> <p>* 「事業主の責務と放射線取扱主任者のあり方について」 Isotope News, 2006, 4月号, P. 76</p> <p>* 「放射性同位元素使用施設等で発生する廃棄物のクリアランスについての現状」 Isotope News, 2006, 10月号, P. 11</p> <p>* クリアランスを巡る最近の動きについて －クリアランスの運用状況及びICRPの新勧告－ Isotope News, 2008, 5月号, P. 64</p> <p>* 放射線管理Q & A Isotope News, 2009, 10月号, P. 63</p> <p>* 放射線管理Q & A Isotope News, 2010, 11月号, P. 50</p> <p>* 「選任放射線取扱主任者のアンケート調査」結果報告 Isotope News, 2000, 6月号, P. 53</p> <p>* 「組織化推進委員会活動報告」 Isotope News, 2002, 7月号, P. 49</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> 主任者部会－21世紀のあり方検討委員会 〔平成 8年11月～平成12年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「主任者部会・21世紀のあり方」中間報告書 平成11年度主任者年次大会要旨集, 1999, P. 135 * 「主任者部会・21世紀のあり方」報告書 (平成11年11月)
<ul style="list-style-type: none"> 放射線管理技術検討委員会 〔平成10年 4月～平成14年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究（中間報告）」(1998) * 「放射線管理技術検討委員会活動報告」 Isotope News, 2002, 10月号, P. 63
<ul style="list-style-type: none"> 製薬放射線委員会 〔平成10年 6月～平成12年 5月〕 	<ul style="list-style-type: none"> * 「ラジオアイソトープを用いた動物実験での文献調査－飛散率について－」 RADIOISOTOPES誌 Vol. 47, No. 11(1998)
<p>【 支部組織 】</p>	
<p>北海道支部委員会</p>	
<p>〔平成 4年 6月～現在〕</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度主任者年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「北海道東方沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News, 1995, 10月号, P. 79 * 「平成11年度主任者年次大会（第40回主任者研修会）要旨集」(1999)
<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度主任者部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成19年度主任者部会年次大会（第48回放射線管理研修会）要旨集」(2007)
<p>東北支部委員会</p>	
<p>〔平成 4年 6月～現在〕</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 平成7年度主任者年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「三陸はるか沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News, 1995, 10月号, P. 74 * 「平成7年度主任者年次大会（第36回主任者研修会）要旨集」(1995)
<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度主任者部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成16年度主任者部会年次大会（第45回放射線管理研修会）要旨集」(2004)
<p>関東支部委員会</p>	
<p>〔平成 4年 6月～現在〕</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 第1種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第37～55回）Isotope News(1992～2011) * 「平成8年度主任者年次大会（第37回主任者研修会）要旨集」(1996)
<ul style="list-style-type: none"> 平成8年度主任者年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成12年度主任者年次大会（第41回主任者研修会）要旨集」(2000)
<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度主任者年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成15年度主任者部会年次大会（第44回放射線管理研修会）要旨集」(2003)
<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度主任者部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成21年度主任者部会年次大会（第50回放射線管理研修会）要旨集」(2009)
<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度主任者部会年次大会実行委員会 	
<p>中部支部委員会</p>	
<p>〔平成 4年 6月～現在〕</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第35, 49, 51, 52回） Isotope News 1993, 2008, 2010, 2011年1月号 * 「平成5年度主任者年次大会（第34回主任者研修会）要旨集」(1993)
<ul style="list-style-type: none"> 平成5年度主任者年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成13年度主任者年次大会（第42回主任者研修会）要旨集」(2001)
<ul style="list-style-type: none"> 平成13年度主任者年次大会実行委員会 	

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度主任者部会年次大会実行委員会 近畿支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕 ・第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会 ・平成6年度主任者年次大会実行委員会 ・平成14年度主任者年次大会実行委員会 ・平成22年度主任者部会年次大会実行委員会 中国・四国支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕 ・平成9年度主任者年次大会実行委員会 ・平成17年度主任者部会年次大会実行委員会 九州支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕 ・平成10年度主任者年次大会実行委員会 ・平成18年度主任者部会年次大会実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> * 「平成20年度主任者部会年次大会（第49回放射線管理研修会）要旨集」（2008） * 「阪神・淡路大震災の被災施設状況調査および救援活動報告」 Isotope News, 1995, 4～8月号 * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第34, 36～52回） Isotope News(1992, 1994～2011) * 「平成6年度主任者年次大会（第35回主任者研修会）要旨集」（1994） * 「平成14年度主任者年次大会（第43回主任者研修会）要旨集」（2002） * 「平成22年度主任者部会年次大会（第51回放射線管理研修会）要旨集」（2010） * 「平成9年度主任者年次大会（第38回主任者研修会）要旨集」（1997） * 「平成17年度主任者部会年次大会（第46回放射線管理研修会）要旨集」（2005） * 「平成10年度主任者年次大会（第39回主任者研修会）要旨集」（1998） * 「平成18年度主任者部会年次大会（第47回放射線管理研修会）要旨集」（2006）

事務局組織

学術部

学術課 TEL (03)5395-8081 FAX (03)5395-8053

- ・理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会、放射線取扱主任者部会事務局
- ・アイソトープ・放射線研究発表会事務局
- ・図書室利用窓口

出版課 TEL (03)5395-8082 FAX (03)5395-8053

- ・RADIOISOTOPES誌の編集・刊行
- ・Isotope News誌の編集・刊行
- ・単行本、ICRP刊行物、ビデオシリーズの編集・刊行
- ・輸送標識の頒布

研修課 TEL (03)5395-8083 FAX (03)5395-8053

- ・第1種放射線取扱主任者講習【文部科学省登録】
- ・第3種放射線取扱主任者講習【文部科学省登録】
- ・放射線取扱主任者定期講習【文部科学省登録】
- ・第一種作業環境測定士（放射性物質）講習【厚生労働省登録】
- ・アイソトープ基礎技術入門講習
- ・その他講習会の事務窓口

滝沢研究所 TEL (019)688-1811 FAX (019)688-1813

- ・サイクロترونセンターの共同利用（仁科記念サイクロترونセンター）
（PIXE分析、PETの利用）
- ・RI利用、医学利用展示（武見記念館）

本資料の発行及び問い合わせ先
(社) 日本アイソトープ協会学術部
〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45
TEL (03) 5395-8081 FAX (03) 5395-8053